

委17-1

第16回宇宙開発委員会(定例会議)

議 事 要 旨 (案)

1. 日 時 昭和59年6月27日(水)
午後3時~3時45分
2. 場 所 宇宙開発委員会会議室
3. 議 題 昭和59年度8~9月期人工衛星打上げ計画について
4. 資 料
委16-1 第15回宇宙開発委員会(定例会議)議事要旨(案)
委16-2 静止気象衛星3号(GMS-3)打上げ及び追跡管制計画書
参 考 Nロケット13号機(F)による静止気象衛星3号(GMS-3)
の打上げ及び追跡管制について

5. 出席者

宇宙開発委員会委員長代理

吉 識 雅 夫

“ 委員

斎 藤 成 文

“ “

大 塚 茂

説明者

宇宙開発事業団理事

竹 中 幸 彦

“ “

船 川 謙 司

関係省庁職員等

科学技術庁研究調整局長

福 島 公 夫

文部省学術国際局審議官

植 木 浩

通商産業省機械情報産業局長

(代理:三宅)

棚 橋 祐 治

(代理:佐藤)

運輸省大臣官房審議官

武 石 章

(代理:沼野)

“ 気象庁総務部長

平 井 清

(代理:小野)

“ 海上保安庁総務部長

植 村 香 苗

(代理:谷)

宇宙開発事業団計画管理部次長

寺 嶋 将 起

“ “ 計画第1課

国 井 清 人

“ 衛星設計第2グループ主任開発部員

箕 輪 盛 好

“ 打上管制部長

渡 辺 正 明

事務局

科学技術庁研究調整局宇宙企画課長

清 水 眞 金

“ “ 宇宙国際課長

森 忠 久

“ “ 宇宙開発課長

北 村 俊 男

他

6. 議 事

(1) 前回議事要旨の確認

第15回宇宙開発委員会(定例会議)議事要旨案(資料委16-1)が確認された。

(2)昭和59年度8～9月期人工衛星打上げ計画について

宇宙開発事業団の竹中幸彦理事及び船川謙司理事より、資料委16-2に基づき標記打上げ計画の説明が行われ、更に静止気象衛星2号(GMS-2)に生じた不具合に関する宇宙開発委員会第四部会の報告を受けて、静止気象衛星3号(GMS-3)について十分な対策を講じた旨の補足説明が行われたのち、宇宙開発事業団の昭和59年度8～9月期人工衛星打上げ計画が了承された。

また、同打上げ計画の了承に際して、宇宙開発事業団の竹中幸彦理事より、「万一、GMS-3の打上げが失敗した場合には、利用者側の要望があれば、N-IIロケット7号機の開発を早め、予備機を昭和60年度冬期に打ち上げることが可能である。」旨、また、気象庁の小野俊行気象衛星室長より、「予備機の打上げは、信頼性の向上等を重視しつつできるだけ早い方が望ましい。打上げ失敗時の対応についてはGMS-3aの打上げの成否が判明した時点で、関係機関と協議のうえ対応したい。」旨、それぞれ発言があった。